

# i-works project





*photo by masao nishikawa*

誰もがこちよいと思える住まい



目指したのは、プレタポルテな家づくり。



機能的に、そして美しく。





*photo by masao nishikawa*

「プレタポルテ」とはアパレル業界で「質の高い既製服」の意味。誰かのためのフルオーダー住宅「オートクチュール」ではなく、建築を「標準化」することにより、オートクチュールの上質さを纏（まとわ）った既製服を、手が届きやすい価格で提供する。それがこの i-works project の狙い。

信頼できる素材・建材メーカー、地域工務店とコラボし、総合的にクオリティの高い、確かな住まいを、日本全国に提案していきます。

小さくても、豊かな暮らしをめざして。





小さな家は、決して“狭い家”ではありません。小さな家を  
広々と住むための工夫を考えることこそが、設計の醍醐  
味。必要なものとそうでないもの、これからの生活を整理  
することで、無駄がなくなり小さくまとめることができます。

さらに、小さな家だからこそ少ないエネルギーで暮らす。無  
駄な空間にエネルギーを費やすこと無く、環境にも優しい  
住まいは、これからの日本にとって、とても大切なことだ  
と思います。



皆さまへ

こんにちは、伊礼智です。

「i-workie」という家のづくりは 設計の標準化から生まれる  
 豊かな住みづくりだと考えています。

*Handwritten signature*

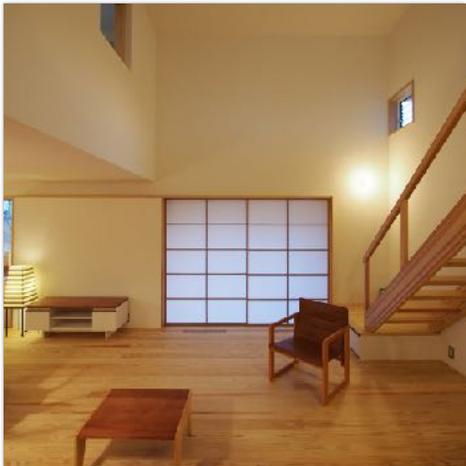
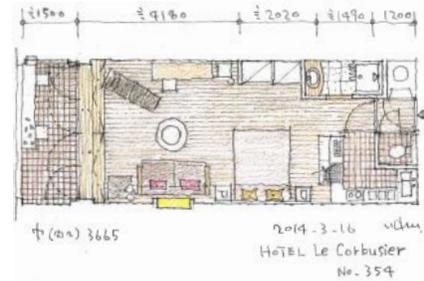
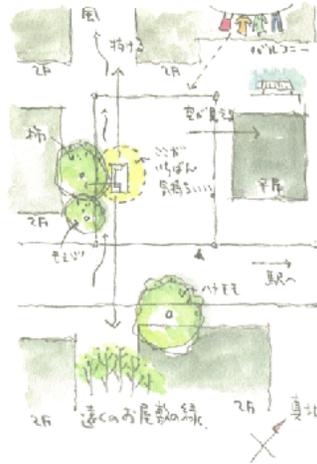
## 伊礼 智 (いれい・さとし)

1982年、琉球大学工学部建設工学科卒業後、東京芸術大学美術研究科大学院修了(奥村昭雄研究室)。

2006年「東京町家・9坪の家」  
 2007年「東京町家・町角の家」でエコビルド賞受賞  
 2013年「i-works project」でグッドデザイン賞を受賞

主な著作：

『伊礼智の住宅設計作法』(2009年 編集/新建新聞社・発行/アース工房) / 『伊礼智の住宅設計』(2012年 発行/エクснаレッジ) / 『伊礼智の「小さな家」70のレシピ』(2014年 発行/エクснаレッジ)



# i-works project 2013年度グッドデザイン賞受賞



GOOD DESIGN  
AWARD 2013



photo by masao nishikawa

日本らしい佇まいを持った、簡素だけれども品格のある住宅を目指し、長寿命性能、省CO2性能、快適性を備えた小さくても大きく暮らせる家を提供することを目的とした本プロジェクトは、2013年度のグッドデザイン賞を受賞。審査委員からは、「建築を標準化する一方で施工は地域工務店を活用し、工業化と手作り感のバランスをとる仕組みを実現している。ユニット住宅でもなく注文住宅でもない建築のあり方を追求し地域貢献を展開している点を仕組みのデザインとして評価する。」と、「設計デザインに加え、工務店と建材メーカーによる『つくり手ネットワーク』」という信頼価値について、高い評価を頂きました。



# i-works project の仕様

部材	材料名(メーカー名)
主要構造材	紀州杉・檜(山長商店)
主要構造面材	モイス(三菱商事建材)
断熱材	セルローズファイバー(マツナガ、デコス)
サッシ	サーモス、オープンウィン(LIXIL)
外壁材	スーパー白州そとん壁W(高千穂シラス) ZiG(タニタハウジングウェア)
内壁材	ビーナスコート(日本エムテクス)
玄関ドア	オリジナル木製玄関引き戸(ユダ木工)
キッチン	i-worksオリジナル
浴室	ハーフユニットバス
雨樋	スタンダード(タニタハウジングウェア)
防蟻材	ポロンdeガード工法(日本ポレイト)

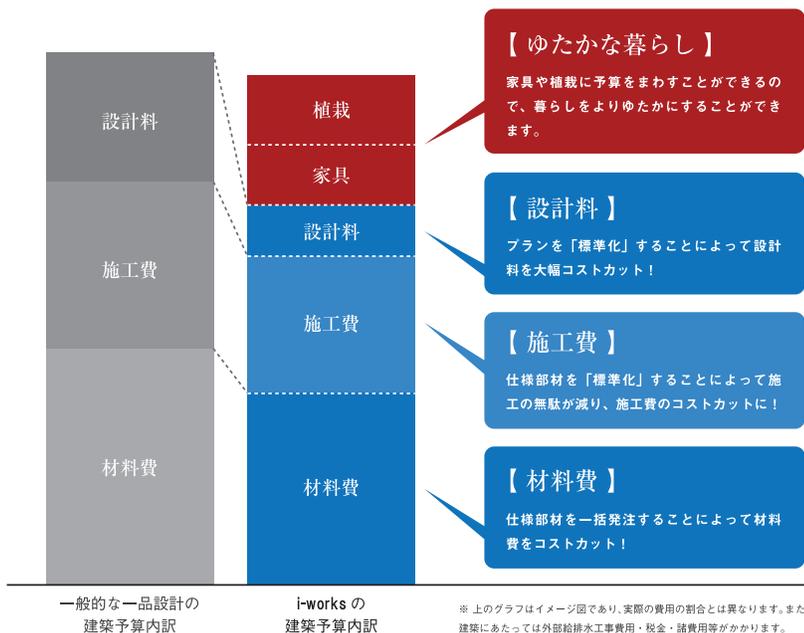
## 伊礼智が長年使い続けてきた 信頼おける建材パーツを標準採用。

i-works project には、グッドデザイン賞でも高い評価を受けた「建材メーカーとのつながり」という魅力があります。一時的な流行やデザインに流されるのではなく、長い寿命と長い必要を兼ね備えた建材パーツを厳選。また、住宅全体をパッケージ化したことにより、構造はもとより、枠廻りや階段も国産材でプレカット化し、難易度の高い仕事を合理化。キッチンや洗面台、置き家具は地域工務店の大工と建具屋で造ることで、空間の中に溶け込むような意匠性と将来的メンテナンスのし易さを確保しています。ハウスメーカーのように徹底した工業化を目指すのではなく、職人技を活かしながら、手づくりの良いところと融合させました。



## ゆたかな暮らしを実現する予算配分

i-works projectでは、ゼロからオリジナルで細かく設計していくのではなく、プランが決まっています。それは徹底的に無駄を省き、合理化されたプランであり、品質にこだわり「住宅の質」を高めた、「標準化」されたプランだからです。毎回異なる仕様や部材をばらばらに使っていたのでは、コストだけがどんどん積み重なり、家全体としての「質」の追求に至りません。厳選された素材を決まった型で導入し、設計コストと部材コストを効率よくすることで、家全体のコストメリットを生み出し、「住宅の質」を高めることに繋がります。設計と仕様部材を標準化することによって、オートクチュール型の一品設計よりもコストを抑えることができます。良質な空間をもつ住まいを、少し頑張れば手に入れることが可能となり、おさえた予算を家具や植栽といった「ゆたかな暮らしを構成するパーツ」にまわすことができます。



# i-works project のプラン

i-works 1.0



■延床面積 : 96.93 m<sup>2</sup> (29.32坪)

i-works 2.0



■延床面積 : 75.18 m<sup>2</sup> (22.74坪)

i-works 3.0



■延床面積 : 93.36 m<sup>2</sup> (28.18坪)

i-works 4.0



■延床面積 : 91.15 m<sup>2</sup> (27.56坪)



パンフ限定 i-works project 特別サイト

## i-works BIM

最新BIMでデータ化された i-works モデルを、自由に動き回る。

**B**uilding → 建物を  
**I**nformation → 情報で  
**M**odeling → 形成する

<http://i-works-project.jp/sp.html>

i-works公式サイトアドレスの後に /sp.html とご記入ください。  
【i-worksモデルのBIMデータがダウンロードできます】





**i-works project**